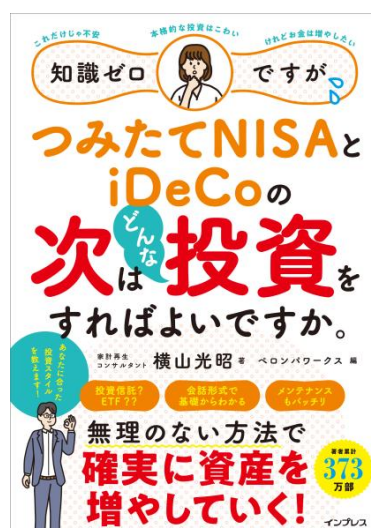


各 位

2022年12月21日  
株式会社インプレス

累計3万部を超えた大人気投資入門書の第2弾が登場！  
『知識ゼロですが、つみたてNISAとiDeCoの次はどんな投資をすればよいですか。』  
12月21日（水）発売

インプレスグループでIT関連メディア事業を展開する株式会社インプレス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小川 亨）は、つみたてNISAとiDeCoを始めた方が投資の第2ステージへステップアップできる書籍『知識ゼロですが、つみたてNISAとiDeCoの次はどんな投資をすればよいですか。』を2022年12月21日（水）に発売いたします。



■つみたてNISAとiDeCoは始めてみたけれど、それだけでは不安……という方、必読！

少額投資非課税制度「つみたてNISA」と個人型確定拠出年金「iDeCo」の口座開設数は年々増加しており、投資を始める人が増えています。2021年11月に発売した書籍『知識ゼロですが、つみたてNISAとiDeCoをはじめたいです。』は累計3万部を突破しました。そんななか、著者の横山光昭氏のもとに多く寄せられる質問が、「とりあえずつみたてNISAとiDeCoは始めてみましたが、次はどんな投資をしたらよいですか？」というものです。

本書は、そんな「とりあえずつみたてNISAとiDeCoは始めたけれど」という方のために新たに執筆された待望の第2弾となります。「これだけでは不安」「本格的な投資はこわい」「けれどもお金は増やしたい」という方のために、「投資の第2ステージ」へのステップアップの方法を、わかりやすく解説しています。

■リスク許容度に合わせて、3つの投資スタイルを提案。自分に合った投資ライフをスタートできます

本書では、「つみたてNISAとiDeCoを始めたその後」について、「①資産計画を見直そう」「②自分にあった増やし方を選ぼう」「③口座を開いて商品を購入しよう」「④メンテナンスしよう」「⑤受け取り方を考えよう」の5ステップで解説しています。

紹介するのは、つみたてNISAとiDeCoをベースとした3つの投資スタイル。最初にリスク許容度をチャートで割り出し、状況やレベルに合わせて、投資信託やETFの運用をおすすめしていきます。また、つみたてNISAとiDeCoを含む運用資産のメンテナンス方法や、ベストな受け取りタイミングを提示するなど、

「とりあえず始めた人」の今後の運用について手厚くサポートします。

本文は「講師と生徒」の対話形式で、項目ごとに図解されているので、知識ゼロでも読みやすく、きちんとお金を増やしていける方法が身につきます。商品名や金融機関名などもそのままマネできるよう、具体的な選択肢を提示しているところも特長です。

### ■本書は以下のような方におすすめです

- ・ つみたて NISA と iDeCo を始めたばかりの方
- ・ つみたて NISA と iDeCo にメリットを感じていて、さらに投資をしたい方
- ・ もっとお金を増やしたい方
- ・ 子育て資金や老後資金が不安な方

### ■紙面イメージ

**STEP 1 資産計画を見直そう**

**知ること 01 65歳以降必要になる自己資金**

ゆとりある老後の生活費の平均額 年ごとの平均収入 85歳までの月数

$$(36.1万円 - 23.7万円) \times 240\text{ヵ月}(20\text{年})$$

**老後に必要な自己資金**

$$= 2976\text{万円}$$

ゆとりある生活のためには年金とは別にこれだけ必要!

**知ること 02 マイホームや子の教育にかかる費用**

**【進学コース別学費の目安】**

	オール国立	幼稚園の私立	中・高私立	オール私立
幼稚園		私立	公立	
小学校			公立	
中学校	公立	公立	私立	私立
高校			公立	
大学			公立	
合計	約784万円	約877万円	約1212万円	約2291万円

**【住宅購入の平均】**

一戸建て(建築) 新築 3605万円 中古 2614万円

ライフプランによっては大きな差もある!

**STEP 1-1 安心してできる老後には結局いくら必要?**

計画的な資産形成を行うためには、目標をしっかりと定めることが大切といえます。まずは将来にわたってどれくらいのお金が必要になるのか、改めて考えてみましょう。

結局、老後までいくらかお金を備えておけばいいのでしょうか。定年後はもちろんですが、子どもの学費やマイホームの購入と、これからとんとん出費が増えていくからそれも考えないとな。資産形成を進めていくうえでも、目標を確認しておくことは重要といえるよ。まずは老後に必要となる自己資金だけ、生命保険文化センターのデータによればゆとりある老後生活に必要な生活費の平均は月額36万1000円。一方、年金収入の平均額は23万7000円とされているね。

年金だけでなく、1ヵ月当たり13万円近く足りないですね。

仮に85歳まで生活するとして、20年間で2976万円不足する計算だね。これは老後までに必要な自己資金で、ライフプランによっては明里さんの言う通り子どもの学費や住宅の購入費も準備しておかないといけない。学費は進学先によって大きく変わりますよね？

そうだね。例えば幼稚園から大学まで、全部公立なら学費は約784万円。一方全部私立なら約2291万円かかるとされている。住宅も新築と中古で1000万円以上、平均購入額に違いがあるよ。

ライフプランによって備えるべき金額も大きく変わるんですね。

【中よりある費用】とは……最短期間の暮らしに加えて、旅行や食事の充実などにお金をかけることができる生活。なお、生命保険文化センターの調査データによれば全世帯の平均生活費の平均額は夫婦2人で月額22.1万円である。

「講師と生徒」の対話形式、フルカラーで読みやすくなっています。

### ■本書の構成

STEP1：資産計画を見直そう ～非課税制度はフル活用しよう～

STEP2：自分にあった増やし方を選ぼう ～もっと増やすなら特定口座で投資信託・ETFを買う～

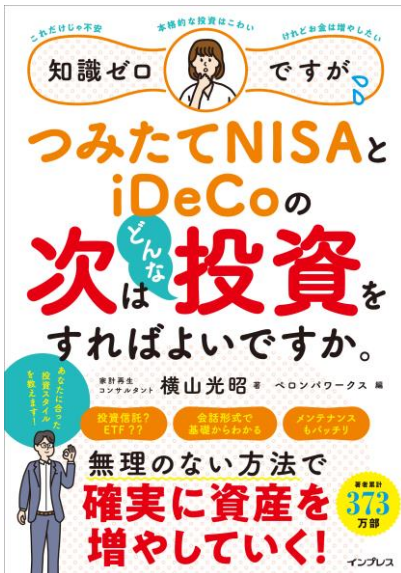
STEP3：口座を開いて商品を購入しよう ～準備はすべてネットで！15分で完結～

STEP4：メンテナンスをしよう ～商品変更と情報収集～

STEP5：受け取り方を考えよう ～ベストなゴール設定で明るい未来を～

応用編：もっと大きく資産を増やそう ～おすすめポートフォリオ・ETF～

## ■書誌情報



書名：知識ゼロですが、つみたてNISAとiDeCoの次はどんな投資をすればよいですか。

著者：横山光昭（著）、ペロンパワークス（編）

発売日：2022年12月21日（水）

ページ数：128ページ

サイズ：A5判

定価：1,320円（本体1,200円＋税10%）

電子版価格：1,320円（本体1,200円＋税10%）※インプレス直販価格

ISBN：978-4-295-01578-9

◇Amazonの書籍情報ページ：

<https://www.amazon.co.jp/dp/4295015784>

◇インプレスの書籍情報ページ：

<https://book.impress.co.jp/books/1122101068>

## ■著者プロフィール

横山光昭（よこやまみつあき）

株式会社マイエフピー代表。お金の使い方そのものを改善する独自の家計再生プログラムで、家計の確実な再生をめざし、個別の相談・指導に高い評価を得ている。これまでの家計再生件数は21,000件を突破。書籍・雑誌など各種メディアへの執筆・講演も多数。著書は、シリーズ累計90万部超の最新作『貯金感覚でできる3000円投資生活デラックス』や『年収200万円からの貯金生活宣言』を代表作とし、計162冊、累計360万部となる。

<https://myfp.jp/>

以上

【株式会社インプレス】 <https://www.impress.co.jp/>

シリーズ累計7,500万部突破のパソコン解説書「できる」シリーズ、「デジタルカメラマガジン」等の定期雑誌、IT関連の専門メディアとして国内最大級のアクセスを誇るデジタル総合ニュースサービス「Impress Watch シリーズ」等のコンシューマ向けメディア、「IT Leaders」、「SmartGrid ニュースレター」、「Web 担当者 Forum」等の企業向け IT 関連メディアブランドを総合的に展開、運営する事業会社です。IT 関連出版メディア事業、およびデジタルメディア&サービス事業を幅広く展開しています。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証スタンダード市場 9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社インプレス 広報担当：丸山

E-mail: [pr-info@impress.co.jp](mailto:pr-info@impress.co.jp) URL: <https://www.impress.co.jp/>

※弊社はテレワーク推奨中のため電話でのお問い合わせを停止しております。メールまたは Web サイトからお問い合わせください。